

## 6月19日 地場産野菜おいしいね!

子どもたちが学校給食で味わう

市ではこの日を、「地場産野菜学校給食の日」とし、地元の農産物を使ったメニューを市内の公立幼稚園や保育所、小中学校など約7,000人に提供しました。子どもたちに地元の新鮮でおいしい野菜を食べてもらい、ふるさとの農産物への関心を高めてもらおうと6月と11月の年2回実施しています。豊小学校では、牧野市長が2年生児童と机を並べ、5品の地場野菜が調理された給食を「おいしい」、「食器は越前漆器だよ」と笑顔でやり取りするなど、楽しい時間を過ごしていました。



子どもたちと楽しく給食を味わう牧野市長



新レッサーパンダ舎完成予想図

## 6月22日 レッサーパンダの新舎着工

西山動物園、来春オープン

西山動物園に建設されるレッサーパンダ舎の安全祈願祭と起工式がこの日行われました。新舎は、レッサーパンダの屋内運動場をはじめ、パネル展示ギャラリーや休憩および学習の場となるランジを設け、1年を通じてレッサーパンダを身近に感じることができる施設になるようです。牧野市長は、「レッサーパンダが身近に感じられ、憩いの場となるよう整備していきたい」とあいさつしました。飼育数も増え、愛くるしさ満点のレッサーパンダが元気に遊ぶ姿を見るのが今から待ち遠しいですね。

## 6月27日 Stop !!the地球温暖化 アップサイクル大作戦!

響陽会館でさばえ環境フェア2015開催

今年で16回目となる「さばえ環境フェア」。今年は、家族で使わなくなった物を持ち寄って交換し、物に新しい価値を見いだす「アップサイクル」をPRするブースを設け、不要な物を生まれ変わらせる目的で物々交換するなど新しい取り組みに関心が集まりました。また会場内には、空気の力で動くホバーラフト体験や新エネルギー実験などがあり、訪れた人は楽しみながらエコ活動への理解を深めっていました。



雑紙3kgと古本1冊が交換できる「ざつ神さま古本市」



牧野市長と全国制覇を誓った鳥羽野球部のメンバー

## 6月29日 先輩に続け、目指せ全国制覇!

鳥羽野球部が学童野球全国大会での活躍を讃う

高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会（8月・東京）に2年ぶりに出場する鳥羽野球部のメンバーが牧野市長を表敬し、3年前に続く全国制覇に向け意気込みを語りました。同部は、県予選会では接戦を勝ち抜くなど、選手の精神面の強さを見せ優勝を果たしました。吉村夢斗主将（鳥羽小6年）は、「自分たちも全国大会に出たかった。優勝したい」と話すと、高橋孝行監督も「精神面が強いチーム。全国でも気持ちの強さを出せればいい報告ができる」と自信を見せました。



# まちの話題

## 6 30 交通安全行政に役立てて

### 湧口涉さんが市へ寄付

長年鯖江交通安全協会の会長を務めるなど、市の交通行政に尽力されてきた湧口涉さん（深江町）。この日、市長室を訪れ「市の交通安全に役立ててほしい」と牧野市長に100万円の寄付金を手渡しました。湧口さんは、今年5月に約20年間務めてきた鯖江交通安全協会の会長を勇退されたばかり。牧野市長は「長い間、市の交通安全活動に大変熱心に取り組んでいただいた。今回の寄付も大変ありがたい」と感謝状を贈呈しました。



牧野市長に寄付金を手渡す湧口さん



改良した消防機器を発表する消防職員

## 7 6 消防機器使いやすく

### 職員10組が改良・開発を提案

消防職員が考案した消防機器などを発表する鯖江・丹生消防組合の「消防機器改良・開発」選考会がこの日、同組合消防本部で開かれました。提案される作品は、消防職員自らの手により実用的な改良・開発を行っているため、高い有用性や実用性があり、現在は商品化、製品化を希望する企業からの照会も増えているそうです。今回最優秀賞に選ばれた提案も消火活動時の作業効率を高めることへの提案でした。こうした活動からも、私たち市民の安全・安心は守られているんですね。

## 7 8 楽しく簡単にプログラミング

### 鯖江東小学校で「プログラミング成果発表」

今回で5回目の開催となる「プログラミングクラブ」。参加した4~6年生の児童17人は、連載でおなじみの「こどもパソコンIchigoJam」を使って、それぞれプログラミングを完成させました。シニアプログラミング教室で学ぶ徳橋忠夫さん（深江町）はこの日も指導者として参加。分からぬ部分があるとすぐに手を挙げて教えてもらおうとする児童の熱心さに感心した様子でした。最後に、打ち込んだ設定に従って、メロディやゲームができると、児童たちは目を輝かせながらプログラミングの面白さを実感していました。



徳橋さん（左）にプログラミングを学ぶ児童



感謝状を受け取った高野さん、橋本さん、山田さん（写真左から）

## 7 10 鯖江の人権擁護に尽力し

### 退任した人権擁護委員に感謝状を贈呈

7月1日をもって、高野昭三さん（筋田町）、橋本幸子さん（舟津町1丁目）、山田喜久代さん（新横江1丁目）の3人が人権擁護委員を退任されました。高野さんと橋本さんは3期9年、山田さんは2期6年委員として尽力され、今回法務大臣と牧野市長より感謝状が贈呈されました。牧野市長は「市内でもさまざまな人権問題がある。皆さんには、市民の人たちの悩み相談や人権思想の普及高揚のための街頭啓発など、熱心に活動いただいた。長い間、ありがとうございました」と感謝の意を述べました。

7  
13

## 「鯖江版」地方創生に全力投球

～地方創生統括監に財務省から三上氏～

今年3月に内閣府が創設した「地方創生人材支援制度」に基づいて、この日財務省出身の三上裕介氏(30歳)が「地方創生統括監」として就任しました。牧野市長から辞令交付を受けた三上統括監は「市の発展に貢献できるよう、精一杯努力します」と就任に当たり意気込みを語りました。今後、鯖江版総合戦略の策定と計画推進、西山公園を核としたまちなかにぎわい創出などに取り組みます。期間は2年です。



牧野市長より辞令交付を受ける三上統括監



牧野市長の問い合わせに答える児童たち

7  
14

## 未来の主役たちへ、市長からのメッセージ

北中山小学校で講義

市制60周年の記念式典の最後に牧野市長自ら、「住みたくなる住み続けたくなるまち」宣言を行い、若い力で我がふるさと鯖江を元気にしていくことを決意表明しました。この日、5、6年生児童59人を前に、市長から市が取り組んでいるまちづくりを紹介し、自分たちが住んでいる「鯖江市」がどれだけ素晴らしい、国内外から注目を浴びているまちかを説明し、ぜひ、将来鯖江の主役になってほしいとの想いを伝えました。児童からは質問も飛び交うなど、最後まで和気あいあいとした講義となりました。

### ハロー トドラー！ vol.⑨ ライフ＆マネー株式会社ワイズチョイス ～夢の実現をサポート～

※トドラーとはヨチヨチ歩く幼児のこと

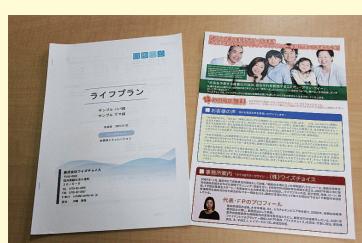
このコーナーでは、市内で新たに起業した事業所を紹介。皆さんまだ歩き始めたばかりですが、今後しっかりと足取りで歩むことを目指し、日々奮闘中です。



代表取締役 川嶋美保さん

突然ですが皆さん、生涯お金に困らないマネープランを考えていますか。多くの人はお金に焦点を当てた人生設計など考えたことがないと思います。現に一生涯のキャッシュフロー（お金の流れ）を試算した結果、老後はマイナス1億円なんてこともよくあるとか。「理想の人生を実現するためにはマナーの総合設計が大事です」そう力説するのは、(株)ワイズチョイスの代表、川嶋美保さん。「お客様の人生の夢実現」を共に目指し、ライフプラン作成、家計管理、保険、ローン、資産運用等を組み合わせた総合的なマナー相談を行っています。川嶋さんは母親の保険事務所のアシスタントをきっかけにファイナンシャルプランナー資格を取得し、14年前に独立。当初は保険業務のみでしたが、2007年からは自宅横に事務所を構え、FP総合相談を始めました。そして今年1月には法人化を決意し、今後のサービス拡大を考え中です。

「FPは総合的な資産設計を行う専門家で、いわば家計のホームドクター。欧米では夢をかなえるパートナーとして認識されているんですよ」と教えてくれた川嶋さん。じっくりコミュニケーションを取りながらの相談を心掛けているため、人生設計の立案には10回程度の面談を行い、それ以降も計画の進捗状況の確認、要所での修正を怠らず、お客様のサポートに余念がありません。「人生には浮き沈みがあります。お客様に寄り添い一緒に波を乗り越えます」と力強く語る川嶋さんですが、人の一生に関わる仕事なので大変なプレッシャーもあるとのこと。しかしお客さんからの「相談して本当に良かった」の声で全て吹き飛ぶそうです。「目標を設定して前向きに人生を歩む人、そんな方と人生の夢や豊かさについて語り合うことが楽しみです。ぜひお気軽にお声を掛けてください」と優しい笑顔で話してくれました。



人生設計について考えてみませんか

ライフ＆マネーデザイン株式会社ワイズチョイス

小泉町30-5-5 TEL 62-3956

ホームページ <http://www.wisechoice.jp>